

コミュニケーション（対話）

下高崎出身 福岡 美恵子（旧姓村上・奈良県在住）



50年前のコミュニケーションと現代のコミュニケーションの変わりようには目を見張るばかりです。私たちは「話す」「聴く」という対話によってお互いの気持ちを通じ合います。その土地に生まれ、その環境によって育まれた言葉にはとても大切な温かいものが含まれております。しかし、それが方言ということまで五城目町から関東・関西に就職した方々は、私を含め言葉によって大変苦労しました。喋れば笑われ、喋らなければ無口な人と決めつけられ……悔しい思いをしながら五城目生まれの根性で一生懸命に働き「真面目な奴」と認められてからはコミュニケーションがうまくいくようになったという友人もいました。今は、直接会わなくても「フェイスブック」「ライン」「ツイッター」などSNSを利用して言葉を発する人が増え、標準語が当たり前になりました。以前のように言葉で悩まなくてもいい時代となりましたが、逆に五城目の方言も消えつつあります。

「きゃりー」「したりきゃし」「よぐたがれ」皆さまお分かりですか。若い方は分からない人の方が多いと思います。五城目専用スマホがでない限り無理ですね。広報「じょうめ」を拝見しておりますと「ケリーのじょうめ奮闘記」のケリーさんは五城目町に国際感覚を示し、子どもたちには良い刺激を与えてくださってうれしい気持ちになります。関西人は二人よれば漫才と言われます。ケリーさんも大いに町民の方々と漫才をして楽しい思い出、コミュニケーションをつくってくださればと思います。また、地域おこし協力隊として4月まで連載がありました「ちゃんりかの五城目探訪記」も楽しく拝見させていただいていました。「小原家」の皆さまには「よぐ来てくださいな」とありがたく思っております。自然豊かな五城目町でお子様とともに健康にお過ごしくださいとご一家のお幸せをお祈りいたしております。

インターネットの発達によって、全国どこか世界中とコミュニケーションが取れるようになり、今やスマホは命の次に大事なものと云っても過言ではありません。そのうち五城目町の物産もネット販売になることではないのが本音ですが、スマホはコミュニケーションの宝石箱のように思えます。こうなったら五城目町から世界に情報発信！一人ひとりのアイデアで実現可能だと思っております。私も五城目町出身者の一人として、ふるさとのご発展を心よりお祈りしながら、頭をひねり続けていきたいと思っております。



齊藤 □さん（17歳・館越）

能代松陽高等学校3年、演劇部所属。昨年11月に行われた全県高校演劇発表会では、主演を務めた作品で最優秀賞を受賞しました。

表現の細部を突き詰め 役者として舞台に立つ

能代松陽高校演劇部に所属する齊藤さん。役者や照明、音響、舞台監督などそれぞれの役割を持つ12人が活発に意見を出し合い、日々の稽古に励んでいます。

「音響や照明などの裏方と役者が一体となって、初めて1つの舞台が出来上がる。自分たちが楽しむだけでなく、お客さんに伝えたいことをしっかり決めた上で、役者の表情や照明、音響の演出で表現するなど、細かい部分までこだわっている」

そう話す齊藤さんは、役者と出演者の舞台メイク（化粧）を担当。セリフの暗記のみならず、そのもととなる台本作りや打ち込み作業、さらには、舞台上の小道具の配置や動き

の見せ方など、各担当と綿密な打ち合わせを行いながら、1つひとつの作品を仕上げています。

そうやって苦労と努力を重ねながら創った作品の中でも、齊藤さんが特に印象に残っているのは、主演を務めた昨年11月の全県高校演劇発表会での舞台です。万引き犯を演じる齊藤さんと、スーパーの店員を演じるもう1人の部員との間で50分以上にわたり掛け合いを行うといった内容で、「掛け合いの間合いを崩すことなく、アドリブを交えながらイメージ通り劇を進めることができた」と、一定の手応えを感じたこの作品は見事最優秀賞を受賞。同部を2年連続となる東北地区高校演劇発表会の舞台へと導きました。

その時以来となる発表会が6月上

旬に迫り、また、齊藤さんにとっては高校生活最後の舞台となります。

齊藤さんは、「演劇部の活動に焦点を当てた内容が作品のテーマとなる。今までの経験を存分に生かし、高校演劇の良さや楽しさ、裏方がいないと劇は完成しないといったことをお客さんへ伝えられるよう、しっかりと気持ちを入れて、精いっぱいやりきりたい」と話しました。



昨年12月には、青森県で行われた東北地区高校演劇発表会に出場しました。

連休中の思い出

I hope you all had a lovely Golden Week. I know I had a nice relaxing Golden Week.

皆さんはきっと、楽しいゴールデンウィークを過ごされたことと思います。私自身はとてもリラックスし、心地良い時間を過ごしました。

Last month I have been able to visit the Morning Market several times, in particular, I have gone to the Gojome Bakery several times. There are so many yummy items at the bakery, I especially loved the garlic bread and the sakura bread.

先月は、五城目朝市へ行ったついでに、新しくできたパン屋さんに入ってみました。おいしいパンがたくさんあった中でも特に、「ガーリックブレッド」や「桜ブレッド」がお気に入りです。

I have also been able to do a bit more exploring including visiting Hirosaki Castle in Aomori. Where I got to see a range of different cherry blossoms including ones that were green! I also visited the Mt Taihei area with friends. As always take care and until next time.

少し遠出して訪れた弘前城では、緑色の花びらの品種をはじめ、様々な桜を見ることができました！また、友人と一緒に太平山周辺にも行ってきました。

また来月まで、お互いに気をつけて過ごしましょう。



ごじょうめの 文芸



一 短歌

遺伝とは寂しきまでに受け継ぎて 苗なるに熟れたるトマトの香のす 浦横町

大宮 一郎

春の野に息吹たかまる雉の声 静寂な朝心にひびく 岡本

二方 征捷

さらさら川のせせらぎ岸辺には キーキーと鳴く番のキジか 古川町

小濱 キエ

濃く薄く遠く近くと景みせる 雨後の若葉を見るはたのしき 八郎瀧町

畑澤 英子

一 俳句

笹煮える匂い広げて粽かな 湯ノ又

畑澤 タマ子

一本の満天星の花ちりぢりに 菜の花や小さき蕾のほろ苦さ 高崎

畑澤 克巳

農に生きこれも勲章汗とシミ 片里の湯宿復活桜時 湯ノ又

畑澤 トミ子

一 川柳

のんびり屋交通事故に遭わぬよう 撫でる手も打つ手も同じ嬢の手 脇村

伊藤 千里

グラデーション想像力が止まらない ほんやりとさせてくれない家事育児 東磯ノ目

いとう 百花

樋口 猿田 良風

ケリーの じょうめ 奮闘記



Kelly Joan Morgon ケリー・ジョアン・モルガン 2020年12月に初の英語著者助手 (ALT) に就任しました。出身地は、オーストラリアのノーザンリトリート州のハンブチャーボローという町です。得意なスポーツはネットボール。よろしくお楽しみください！